



芸北教育

広島県立加計高等学校
芸北分校

299号

令和元年
~12月~

11月16日(土)17日(日)
芸北文化ホール・芸北中学校をお借りし、**芸分祭&地域芸能発表大会**を開催しました。

「新時代の幕開け〜やってやれないことはない〜」のテーマのもと、多くの保護者、地域の方の来場者を迎えた熱気あふれる会場で、地域の方に御出演いただき、芸分生が圧巻のパフォーマンスを次々に披露しました。

生徒会の生徒が中心となり春先から他校の文化祭などを見学、交流する中で自分たちも新しい取り組みを行いたいという思い

を実現させ、今年度初めて2日間の開催となりました。地域の皆様から多数の**広告を頂戴しての手作りパンフレット**を作成、**全学年による模擬店等**。「伝統」「元氣」「パワ―」「笑顔」**にして何より分校が大切にしている「芸分魂」**など充実した内容で御来場の方々に地域に「**元気を発信したい**」「**喜びや感動を分かち合いたい**」との熱い思いで会場を盛り上げました。



全国から入学できます! 女子下宿、男子寮完備。町より月一万円補助制度あり。**見学随時可能。**
(電話)〇八二六・三五・〇七二六



●初・芸分祭「1年生」

1年生の劇は「今日から俺は！」を全員で熱演。それぞれが自分の殻がある。その殻をいかに破り、成長

していくのかを生徒たちだけで脚本、演出、実演を行いました。2年後に成長したと思える自分よいう一人ひとりが自分なりの殻を破りました。かな？これたか？

です。生活での実践ダンスでは、

練習過程での「ぶつかり合い」を乗り越え、必死に自分の殻を破ろうと一生懸命な姿が伝わってきました。



●芸分祭「躍動2年生」

2年生の劇は「芸Bun Panman」と題して、

人気アニメのアンパンマンをモデルにしてユーモアたっぷり演技しました。1年次に比べ余裕？が出

てきたのか堂々たる演技ぶりは成長のあかしでしょう。更なる飛躍に期待します。



● 3 年生最後の「芸分祭」



さすが 3 年生のパフォーマンス。芸分に入學してから印象に残る工

ピシード、劇、男女の仲の良さが伝わってくるダンス、目の付け所ばっちりの迫力ある「ハカ」(芸分公式ツイッ



ターに動画あり)！進路決定に向けて大事な時期にメ

リハリのある生活を送り



素晴らしい姿を見せてくれました。まさに「One Team」

● 「芸分祭」あれこれ



● ホリス音楽部、芸北レディース、県民謡 芸北中央支部、雲月支部による発表、音楽選択者による演奏、合唱、英語会話選択者による英語寸劇、神楽部による「序の舞」「神武」「八岐大蛇」、書道・美術選択者による展示発表、バンド同好会発表等・・・盛りだくさんの芸分祭も盛大に行わ



れ無事終了、「芸北の空」を合唱した後は外国人来客者かスタンディングオベーションの拍手、地元地域の皆様におかれましては涙を流していらっしやる方もおられました。今後

● 学校園の剪定「課題研究」作品制作

文化祭に向けて、科目「課題研究」を学ぶ生徒が作品制作の一環として、学校園の剪定をしました。この学校園は初代分校長河野通芳先生をはじめ当時の教職員が植栽されたものです。この作業を通して、芸北分校の伝統を次世代に継いでいけたらと思

ます。



● 「芸北分校あすなろプロジェクト」文部科学大臣表彰

12月2日(火)文部科学省において、地域を創生する活動のうち、その内容が

全国の模範と認められ、文部科学大臣より表彰を受けました。創立から70年、地域と学校が共に歩んできた芸北教育の「蓄積と伝承」の証です。今後、より一層、絆を深めていくことが大切です。引き続き、よろしくお願ひいたします。

突然の訃報

平成二十年四月から二十四年三月まで芸北分校長、平成二十七年から加計高校校長であられた小田均校長先生が先日お亡くなりになりました。謹んでお悔やみ申し上げますとともにご冥福をお祈りいたします。八〇二〇運動、ハイハイ軍人の撲滅、かわいがられる人間になろう、努力より夢中、バカになりきった方が賢い等々、数多くのオリジナルスローガンを掲げてこられました。校長先生作成プリントの最後に次のような言葉が残されています。

丸い。石は丸くならない。たくさん石がぶつかり合うから石は丸い。人も社会で一人では生きられない。いろいろな人がいるから人も磨かれる。必要のない人は一人もいない。すべてが自分を磨いてくれる。

この度、加計高校と芸北分校両校が「地域連携に係る文部科学大臣表彰」の同時受賞をしました。お見舞いに伺った際に「これが置き土産じゃの」とおっしゃった言葉が忘れられません。

太公望球児